

平成22年度 社団法人 大阪府臨床検査技師会 第1回定期総会 (平成21年度決算総会)

次 第

- 日 時 平成 22 年 5 月 27 日 (水) 午後 7 時 00 分～ 8 時 00 分
場 所 大阪産業創造館 6 階会議室 E
- 次 第
1. 開会の辞
 2. 議長選出
 3. 議長挨拶
 4. 総会役員選出
 - 1) 資格審査委員兼議事運営委員任命
 - 2) 書記任命
 5. 会長挨拶
 6. 資格審査報告
 7. 議案審議
 - 1) 第 1 号議案 平成 21 年度各部事業報告に関する件
 - 2) 第 2 号議案 平成 21 年度決算に関する件
 - 3) 第 3 号議案 公益社団法人移行に関する件
 - 4) 第 4 号議案 その他
 8. 議事録署名人選任
 9. 総会役員解任
 10. 議長挨拶
 11. 閉会の辞

議事録 (概要)

1. 開会の辞

定刻どおり運天副会長より平成22年度第1回定期総会開会の辞があった。

2. 議長選出

議長選出について、総会出席者中より議長立候補者がいないため、執行部からの提案として山内一浩氏(市立豊中病院)ならびに片山智永子氏(㈱大阪血清微生物研究所)の2名を提案し、出席者の拍手多数をもって承認された。

3. 議長挨拶

山内議長より議長就任の挨拶があった。

4. 総会役員選出

1) 資格審査委員兼議事運営委員任命

山内議長より、資格審査委員兼議事運営委員として理事から井戸田理事ならびに高田理事の2名と、出席者より野村ちづる氏(住友病院)、池田勝美氏(城山病院)、近藤進平氏(新大阪健診クリニック)の3名が選任され、委員長には井戸田理事が任命された。

2) 書記任命

山内議長より、書記として、大臨床事務所職員の岩崎氏ならびに仲野氏の2名が選任された。

以上の総会役員任命について、出席会員の拍手多数をもって承認された。

5. 会長挨拶

平成21年度も予定通り順調に事業を遂行できた

が、公益社団法人移行に向けた大臨床定款の改定は、予定どおりに進まなかった。本件については第3号議案でご審議をお願いする。

平成21年度に特記すべき出来事として、1.平成21年度に会員数が3,000人を超えたが、組織率100%になったわけではなく職能団体としては100%を目指すべきであると考え、今後も会員増加・組織強化に努めたいと思っている。2.昨年4月1日に天王寺駅最寄りのニチマンビルから谷町6丁目駅最寄りの大阪府医師協同組合東館に事務所を移転した。ニチマンビルは長い間慣れ親しんだ事務所であったが、会員増に伴って手狭になったことやビル自体の老朽化、研修会会場として利用できることから移転を決意した。本日で移転後1年経ち、大きなトラブルもなく順調に機能している。移転の目的のひとつであった研修会等にも大いに活用できている。3.求人情報の提供で、かねてより会員から求人情報の提供をして欲しいという要望があり、総会終了後すぐに導入を前提に慎重に検討を重ね、昨年10月に大臨床ホームページ上に求人掲示板を開設した。現在までの求人数は71件となり、求人掲示板により就職、活躍される場を提供することができた。今後も会員の皆さまのお役に立つような事業をしていきたいと考えている。

平成21年度決算については本総会で慎重かつ十分な審議をお願いしたい。

6. 資格審査報告

井戸田委員長より資格審査報告があり、本日の会員出席者数31名、委任状によるもの2,074名、計2,105名で、平成22年5月27日現在の正会員総数

2,856名の過半数を超えており、本総会は成立するとの報告があった。この報告を受け、山内議長より定款22条に基づき本総会の成立宣言があった。

ここで、議長を片山議長に交代した。

7. 議案審議

1) 第1号議案 平成21年度各部事業報告に関する件
各部から議案書に従って平成21年度の事業報告が行われた。

① 総務部

吉本理事より、庶務、広報の2部会について報告。

1. 庶務部会-大臨技の運営に関わる業務として、
 - 1) 2回の定期総会および、日臨技の総会と合わせて開催案内および委任状を会員に送付。総会時の永年会員表彰、感謝状表彰関連の準備作業も行う。
- 2) 理事会を始め大臨技の各種会議の開催準備および開催を行った。
- 3) 平成20年度の事業報告書を作成し大阪府へ報告した。
- 4) 本年度「公益社団法人」の認定取得に向け、12回の「公益法人化準備委員会」を開催し、定款改訂等の準備を進めた。
- 5) 教育機関と当会との連携強化を目的に、各教育機関担当者や当会担当者による「第6回臨床検査教育機関懇談会」の開催、各教育施設の学生への大臨技ニュースの配布、学生への技師会活動の啓発のための「第5回大臨技教育セミナー」を開催した。また、各教育機関より推薦された学生に対し卒業式時に「大臨技会長賞」の授与を行った。

2. 広報部会

- 1) 「大臨技会報」は、会員の皆様へ大臨技に関する資料を提供する目的のために通巻 第195号を発行した。
- 2) 「大臨技ニュース」は、月々の月間予定を含む最新ニュースを届けるため、第243号から第254号まで毎月1日に発行した。
- 3) 特別発行物として、節目毎に大臨技の歴史を残す資料として「年輪V」を発行した。
- 4) 大臨技ホームページにおいては、平成21年10月から「求人揭示版」で求人情報の掲載を開始し、現在までに70件を超える依頼が来ている。このように大臨技ホームページは、関連団体からの情報や理事会議事録の掲載など、会員の皆様に対し有益な情報を、リアルタイムで正確に提供するため、逐次更新した。

② 渉外部

清水理事より、渉外部の3事業（献血推進運動、他団体との連携交流、障害者への理解と協力）について報告。

平成21年度は、日本臨床衛生検査技師会との共催事業として献血推進活動と障害者への理解と協力としての講演会を開催し、新たな取り組みとして日臨技公益委託事業の3事業を行った。

平成21年度事業計画の基本は、地域医療推進と臨床検査の普及啓発に関する事業、大阪府民の健康増進と福祉の向上を目指し、関係団体と協力して地域医療の推進を進めてきた。

1. 献血推進活動では第31回献血推進活動を平成21年8月8日難波グリーンガーデンにて開催し、献血受付84名、献血者62名。第32回献血活動推進活動は平成22年2月20日同場所において、献血受付97名、献血者78名の参加協力があった。
2. 他団体との連携交流では大阪府「看護の日」記念行事として、平成21年5月12日ツイン21において、世話人9名の協力により血糖測定:379件、頸部工コー:222件の測定を行った。

第5回府民健康フォーラムは平成21年10月31日に大阪YMCA国際文化センターにおいて「私たちの暮らしと薬・検査・栄養」をテーマに196名の参加があった。第8回大臨技・大放技合同フォーラムは平成22年1月16日大阪府医師協同組合にて「打倒!乳がん一早よ診つけて、早よ治そう」をテーマとし一般47名、大放技58名、大臨技90名の合計195名の参加があった。

3. 渉外部講演会では平成21年12月5日大阪府教育会館たかつガーデンにて「目で聞くコミュニケーション「手話」の魅力」をテーマに手話講演会を開催し、37名の参加があった。
4. 日臨技公益委託事業の3事業①ガン制圧、乳がん撲滅に関する事業として、乳がん検診啓発推進活動を平成21年9月4日難波グリーンガーデンにて世話人13名参加。②エイズ、STI 予防に関する事業としてHIV予防啓発活動を平成21年12月5日、谷町9丁目駅、森ノ宮駅周辺において世話人18名参加。③生活習慣病予防啓発に関する事業として、生活習慣病予防啓発活動を平成22年2月20日難波高島屋周辺にて世話人13名で大阪府民を対象に啓発活動を行った。

③ 情報組織部

井戸田理事より、平成21年度の事業を報告。技師間における組織の強化ならびに新人の教育研修および技師会への入会斡旋、またチーム医療への参画とスキルアップを目的に事業を開催した。

1. 新入会員研修会を平成21年5月16日に開催し、新人の研修と交流を行ない36名の参加があった。
2. 職域部会を平成21年6月5日および平成21年11月6日に、「病院機能評価Ver.6について」をテーマに情報提供とディスカッションを行ない、各々37名、29名の参加があった。
3. 昨年までの収支管理研修会に替わり、検査運営研修会を平成21年12月19日に「医療安全」をテーマに開催し、36名の参加があった。
4. 第26回技師長会を平成22年2月20日に、「チーム医療」をテーマに開催した。内容はNST活動に関するものと診療報酬改訂に関する情報提供を行い92名の参加があった。
5. チーム医療部門の報告として、糖尿病療養指導部会では特別講演会を平成21年7月5日および平成22年2月21日に開催し、各々の参加者数は53名、93名であった。また、定例勉強会を4回開催し、各々37名、38名、36名、33名の参加があった。ICT部会では平成21年6月25日と平成21年9月18日にグラム染色の内容で定期講習会を開催し、各々69名、47名の参加があった。NST・褥瘡部会では平成21年6月20日と平成21年11月7日にNST活動およびNST教育について講演会を開催し、各々67名、36名の参加があった。生殖医療部会では平成21年7月1日に奈良県技師会と合同で講演会を開催し、27名の参加があった。

④ 地区事業部

田畑理事より、平成21年度の3事業を報告。

1. 会員相互の交流の強化、2. 学術集会及び自由集会の開催、3. 地域医療活動に関する協力の3事業計画に従い事業活動を行った。

1. 会員相互の交流の強化事業として会員交流会9月26日堺とれとれ市にて、大型漁船乗船体験、バーベキュー、ゲーム大会等を行い、親睦を深めることが出来た。
2. 学術集会及び自由集会の開催事業として1) 施設連絡者会を大阪産業創造館にて、3月20日「大臨技報告」、「日臨技報告」、「平成22年度保険点数改定を踏まえて」の内容で開催し、大臨技での内視鏡部会の立ち上げや、日臨技

の方向性、22年度の点数改定のポイントを知ることが出来た。2) 北、中央、南の3支部において、職能を主題として、それぞれ2回の自由集会を行った。①北支部では、大阪医科大学にて6月20日、テーマ:心電図検査の基礎 ~この波形見たことあるけど、何だっけ?あやふやな記憶を確かな知識に~「1.基礎編」、「2.臨床編」の内容で開催し、162名もの参加があり、後に他の支部でも開催する事となった。同場所において12月12日、テーマ:年末総血算2009!一紅

(赤)白最新情報がワンコインで「1.血球計数装置の性能と限界」、「2.検査情報の活かし方とピットホールについて」の内容で開催した。

②中央支部では、大阪府立成人病センターにて7月18日、テーマ:日当直時における緊急検査の落とし穴-異常データの解析および対処方法「1.生化学・免疫」、「2.血液・凝固」、「3.一般検査」の内容で開催。12月5日同テーマにて「1.生理」、「2.輸血検査」の内容で開催した。

③南支部では、大阪南医療センターにて6月24日各種資格・認定サポート勉強会をテーマに、1.緊急臨床検査士、2.認定輸血検査技師、3.認定臨床微生物検査技師、4.認定血液検査技師、5.音波検査士、6.糖尿病療養指導士の取得方法等の内容で開催した。10月24日岸和田徳洲会病院にて、前述の北支部と同内容の、心電図検査の基礎 ~この波形見たことあるけど、何だっけ?あやふやな記憶を確かな知識に~「1.基礎編」、「2.臨床編」の内容で開催した。3支部とも充実した内容の自由集会が開催され、参加人数も平均112名と高い参加率になった。

3. 地域医療活動に関する協力事業として、豊中市および吹田市で行われた健康展に参加協力した。摂津市においては、インフルエンザの影響により21年度は中止となった。また新事業として大阪南港ATCホールにおいて7月4日(土)、5日(日)マタニティーカーニバル2009体験コーナー(日臨床共催事業)を運営し、2日間約20,000人の来場者があり、体験コーナーも充実したものであった。今後も臨床検査ならびに臨床検査技師をアピールするために、参加、協力したいと考えている。

⑥ 学術部

高田理事より、平成21年度の学術部の事業を報告。

学術部事業活動の会議として部会を12回開催し、第5回大臨床教育セミナー会議を各技師養成学校・大学の担当者との懇話会を総務部庶務部会と協力して開催し意見の交換を行った。

事業としては、7月18日に関西医大滝井病院にて第4回大臨床教育セミナーを開催した。教育講演では、「患者の心理を考える」をテーマに、ワークショップでは、検査技師学校の先輩諸氏の体験談や今後の希望等をテーマにし、131名の参加があった。学生にとって病院実習に入る心構えや進路を決めるときの一助になるような講演になったと考えている。

平成21年度より大臨床フォーラムに替わり学術講演会を2回開催した。第1回は「臨床検査技師に求められる統計解析の基本的な考え方」をテーマに9月19日に関西医大滝井病院で、第2回は「腎症を理解する」をテーマに3月6日にあべのメディックス6階ホールで開催した。第1回は105名、第2回は111名の参加があり、分野を越えた白熱した討論が行われた。平成21年度の救急処置に対する取り組みとして、11月13日に済生会中津病院にて、「救える命を救うために」をテーマに救急処置の講演会を開催した。実践編として関西医大枚方病院との共催で第3回ICLSコースを、2月28日に関西医大枚方病院で開催した。技師会より11名の参加あり、

一日たっぷり時間を費やし、救急処置の重要性を認識したと思う。会員の救急処置に対する意識は高いが、ICLSコースの認知度は低く、今後は如何に多くの会員に参加してもらえるか工夫する必要があると考えている。

第58回日本医学検査学会においては、一般演題・シンポジウム等の座長・司会者を9名推薦し、シンポジウム等に2題、一般演題では28題の発表があった。第49回近畿医学検査学会においては、16名の座長推薦を行い、29題の一般演題とシンポジウム等に9題の発表があった。

学術研究活動については、新型インフルエンザの影響により開催延期になった事業があったが、1年を通じてシリーズ化されている事業、年次を越えて継続されている企画を中心に講演会、研修会、実技講習会等の事業を実施した。平成21年度は106回の事業開催で、参加者は前年度に比べ約3%減の約6,400名であった。今後は継続事業を開催するだけでなく会員のニーズをさらに掘り起こせるように積極的に進めていきたい。

学術部としては平成21年度も予算総会で承認された計画案で事業を展開し、ほぼ満足すべき結果を残せたと考えている。

以上の第1号議案「平成21年度各部事業報告に関する件」は質問、意見共なく出席会員の拍手多数をもって承認された。

2) 第2号議案 平成21年度決算に関する件

「平成21年度決算に関する件」について別紙「収支計算書」をもとに荒木理事より報告。

収入についての報告

会費収入:会員増により798,000円の増収、事業収入:学術講演会の減収により1,138,200円の減収、補助金収入:日臨床公益事業補助金等の1,379,702円の増収、雑収入:297,851円の増収、当期予算額に対し2,365,233円増の33,935,233円であり、前期繰越収支差額と合わせ45,511,661円の収入を計上した。

支出についての報告

人件費:職員通勤交通費がUPであるが272,688円の減、会議費:261,728円の減、事務経費:971,756円の減、事務所費:新事務所賃借料UPで303,384円の増、学術研究費:1,456,487円の減、広報印刷費:309,142円の減、渉外費:日臨床共賞・委託事業を含め431,208円の増、情報組織費:253,833円の減、各種研修会費:45,000円の減、各種委員会費:その他委員会費が行われず482,626円の減、地区事業費:日臨床共催を含め83,124円の増、諸経費:事務所移転に伴い諸費用増により331,673円の増、当期予算額に対し2,806,021円減の36,013,979円を計上した。当期収支差額は△2,078,746円となり、前期繰越収支差額11,576,428円と合わせ、9,497,682円を次期繰越収支差額とした。繰越金の使途は検討課題とする。

続いて村上監事より、定款36条の規定により平成21年度の監査を、東野監事ならびに村上監事で実施した結果について監査報告があった。

【監査報告書】

1. 会務について

平成21年度定期総会において、決議された事業計画については、円滑に遂行されていると認める。

また、事務局、事業部の各部署は、下記の事業を通して会員への情報提供や専門教育および府民への貢献のために活発な活動を行なわれたことを高く評価する。

2. 会計について

収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算

書をはじめ各帳簿並びに各証拠書類の整理及び備品管理は適正に行われていると認める。

3. 意見及び要望事項

平成21年度も各役員や部会の世話人の方々および会員が一致団結して活動された。

今後も皆さんが協力しあって会員や府民のために遂行されることを期待します。

以上の第2号議案「平成21年度決算に関する件」および「会計監査報告」は質問、意見共なく出席会員の拍手多数をもって承認された。

3) 第3号議案 公益社団法人移行に関する件

第3号議案の公益社団法人移行に関する件で今井会長より報告。

すでに公益法人に照らし合わせた定款変更案はできているが、現在、大阪府で確認の最中で、今日現在、まだ会員の皆様に公表できる段階には至っていないので、本日はまだ定款変更の議題としてあげる状況ではない。今後の予定として定款変更案がまとまり次第、速やかに会員の皆様に公表し、その1ヶ月後くらいに、臨時総会を開催し会員の皆様の承認を得たい。

以上の第3号議案「公益社団法人に関する件」は質問、意見共なく出席会員の拍手多数をもって承認された。

4) 第4号議案 その他

以上の第4号議案「その他に関する件」は意見なく上程なしと判断した。

8. 議事録署名人選任

片山議長より、議事録署名人として本日出席者の中から、朴國允氏（共和病院）、久保田芽里氏（大阪府立泉州救命救急センター）の2名が選任された。

以上の議事録署名人の選任について、出席会員の拍手多数をもって承認された。

9. 総会役員解任

片山議長より、本総会の役員および書記が解任された。

10. 議長挨拶

片山議長より、議長退任の挨拶があった。

11. 閉会の辞

竹浦副会長より、平成21年度第1回定期総会閉会の辞があり、午後8時00分閉会となった。

平成22年5月27日

議事録署名人	朴	國允	印
同	久保田	芽里	印